

## 県民及び利用者の皆様へ

### －神奈川県の不当事業について－

弊社は平成2年から湘南海岸、江の島において駐車場経営を行い、湘南港、湘南海岸公園の指定管理を行っていますが、おかげさまで現在、経営も安定し、収益も順調に伸びてきています。地域の観光産業の発展や活性化に尽くすため、秋には「湘南なぎさフェスタ」を開催し1万人以上の皆様のご来場をいただき、また、江の島の花火大会や藤沢市民マラソンに協賛するなど、湘南の地元企業として県民の皆様と親しんでいただいております。

さて、こうしたなか、神奈川県から社長の解任のための株主総会の開催が企てられています。これは、江の島湘南港における当社の前ハーバーマスターの人事にからんで県が会社の人事管理に不当に介入するものです。この社員は定年を過ぎており、今年4月に課長職から顧問とし、ハーバーマスターには管理部長を充てたものです。

すると、9月になり神奈川県セーリング連盟はこの社員のハーバーマスターの職への復帰と人事権の付与を求めて署名活動を行い、県の浅羽副知事に要請を行いました。これに呼応して、県藤沢土木事務所は安全性が確保できないとの理由で湘南港の調査を行うとともに、この社員を元の職に戻すような人事計画を提出するよう、再三、文書で要請してきました。湘南港は9月より2名の経験者を増強し、さらに実地研修を強化するなど組織全体で安全性、サービス向上に万全を尽くしており、今日まで全く問題なく運営されており言いがかりに近いものです。県の要請は1月間に8回も通知されるなど執拗で、会社の正常な経営にも支障を生じかねず、県に明確な理由を説明するように再三協議を申し入れましたが、明確な回答はありませんでした。

その後、県上層部が社長に対しハーバーマスターの職に戻すように再三、要請し、これに従わないと、10月27日には社長に自ら辞任するように強要しました。経営者としては理由のない辞任には当然応じられず、これを固辞すると、こんどは株主として、「湘南港の利用者や関係団体との間において大きな混乱を招いている状況にある」として社長の解任を求めてきたものです。

そもそも公共団体である県が会社の個別の人事に関わり、特にコンプライアンス上問題のある社員の人事に何故、こうも強引に介入するのか、また、県が一部の団体の運動に加担して公正な立場を逸脱するようなことは許されるのでしょうか。今回の件は全く理解に苦しみ、尋常な対応とは思えません。

この件について、神奈川県は行政の透明性を遵守し、県民に対し明確に説明責任を果たすべきです。

社員も人事に他の団体が介入することは由々しい問題であり圧力に屈することなく経営に取り組んで欲しいと訴えています。当社としても、会社運営の重要問題として弁護士等の専門家のアドバイスを受け対応を図るとともに、広く事実関係について周知を図ってまいります。

当社は、江ノ島でのオリンピック開催を前に、子供のヨット教室の開催や、港と公園を花で飾るフラワーサポーターの活動などを行っていますが、セーリング競技を一部の関係者だけでなく広く市民、県民の皆さんが楽しめるよう、地域から取り組みをしていきたいと思っています。

今後どのような事態となっても、当社は地域の利用者、県民の皆様にも少しでも貢献できるよう、コンプライアンスに基づき健全な経営を行ってまいります。

平成28年12月8日

株式会社湘南なぎさパーク